

1996年、新潟県柏崎市に柏崎トルコ文化村というテーマパークがオープンしました。トルコ料理や特産品、子供向けのアトラクションなどを揃えた遊園地で、今回問題となっているアタテュルクの銅像も展示されていました。

このアタテュルクの銅像は、トルコ共和国から友好の証としてトルコ村に寄贈されました。(また、このときトルコは「日本は軍事国家ではないから」という理由からわざわざ軍服を着ていない姿にしてくれました)



しかし徐々に資金繰りが悪化し、運営会社が破綻。2002年に柏崎市が買い取りますが、2004年の新潟県中越地震をきっかけに集客が激減。閉鎖となってしまいました。柏崎市は06年7月、A会社(仮名)に1億4千万円でトルコ村を(土地や建物、銅像もふくめて)譲渡しました。「銅像の取り扱いは十分、市と協議する」と明記され銅像は展示されましたが、07年の新潟県中越沖地震で倒壊の恐れを理由に像は台座から外され、放置されていました。

現在では屋内に移動された(?)らしく野外に放置されていない様です。



屋内に移動(?)

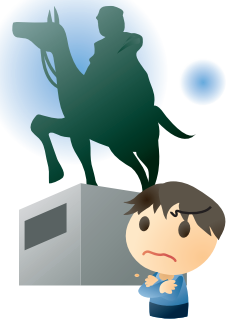
すぐにでも銅像を移転させたいところですが、ある問題がありました。A社が買い取った土地の中に民間人が所有する土地があったのです。現在は、地権者が賃料の支払いを求めてA社を提訴し、またA社は「売買契約時の説明が誤っていた」として市を提訴するという事態が起っています。(市は適法に譲渡したと主張)

両者とも銅像に関してどうにかしたいと考えているものの、裁判が中々進展しないために銅像の移転問題も折り合いがつかず、保留状態となっています。(詳しくは団体HP等をご覧ください。)



100年以上前の悲劇から互いに友好を深めてきたトルコと日本。そんなトルコから友好の証として贈られてきたアタテュルク像。訴訟問題が進展しないのは仕方が無いかもしれません。しかし、このままでよいのでしょうか?

現在、インターネット上ではこの問題を知った人達が「トルコに対してあまりに失礼だ」、「1日でも早期解決を!」と行動を起こしています。『ムスタファ・ケマル像を移転する会』もその中の一つです。



『ムスタファ・ケマル像を移転する会』ってなに?

今回の問題を知った2ちゃんねるの掲示板の人達の中からハンドルネーム「串本町代表電話」氏が代表して設立した団体です。この問題を少しでも多くの人に知ってもらおうと、チラシを作ったり動画を作ったりと、いろんな人達がいます。

団体 URL

<http://www19.atwiki.jp/torco/pages/1.html>

2009年5月6日、産経ニュース様にとりあげていただきました。団体HPのトップページからも閲覧する事が出来ます。

<http://sankei.jp.msn.com/life/trend/090506/trd0905060153000-n1.htm>

団体の目的は?

本団体の目的は、新潟県柏崎市の旧柏崎トルコ文化村内にあるムスタファ・ケマル・アタテュルク像を裁判から切り離し、銅像の移転(移転先の候補として和歌山県串本町があがっています)・再建、または現状の改善を求めることです。しかし、いまだこの問題を多くの人には知りません。そのため、現在団体では少しでも多くの人々に知ってもらおうと宣伝動画やパンフレット、チラシ等を作成してこの問題を宣伝しています。

「自分にも何か出来る事はないかな?」「問題解決にぜひ協力したい!」と思った方達へ。ぜひ協力してほしい事があります。

署名

アタテュルク銅像 署名

検索

2009年4月14日よりオンライン署名サイト「署名TV」において署名活動が始まりました。下記サイトより署名が出来ますのでぜひご協力ください。



署名TV

<http://www.shomei.tv/project-932.html>

署名プロジェクト名

「旧トルコ文化村内のムスタファ・ケマル像を当事者間の裁判から切り離し、問題の早期解決を求める要望書」

署名は集まり次第当事者等に提出し改善を要望すると共に、事前に問い合わせを済ませた外務省にも提出し、この問題を外交問題として扱ってくれるようお願いいたします。

注意

必ず読んでください

※イラストは全てイメージであり、実際の人物・団体とは一切関係ございません。
 ※スペースの都合上、一部記載できなかった内容もあります。詳細・最新情報は団体サイト等をご覧ください。
 ※当パンフレットの目的は署名を募るものであり、特定の個人・企業を誹謗・中傷するものではありません。
 ※また特定の個人・企業等に今回の問題に関する誹謗・中傷・要望等の電話をすることは絶対におやめください。何らかの問題が生じてても、当団体では責任を負いかねます。
 ※また当団体は、特定の政治団体・企業等とは一切関係ございません。

このチラシは2009年6月18日に制作されたものです。